

令和5年度 特別の教育課程の実施状況等について

学 校 名	管理機関名	設置者の別
小木小（外 校）	能登町教育委員会	公立

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
能登町立小木小	<a href="https://cms1.ishikawa-c.ed.jp/ogixxe/さっと（里）海へいこう！">https://cms1.ishikawa-c.ed.jp/ogixxe/さっと（里）海へいこう！</a>

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
能登町立小木小学校	<a href="https://cms1.ishikawa-c.ed.jp/ogixxe/さっと（里）海へいこう！">https://cms1.ishikawa-c.ed.jp/ogixxe/さっと（里）海へいこう！</a>	<a href="https://cms1.ishikawa-c.ed.jp/ogixxe/さっと（里）海へいこう！">https://cms1.ishikawa-c.ed.jp/ogixxe/さっと（里）海へいこう！</a>

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- ・計画通り実施できている
- ◎一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

令和6年能登半島地震により、3学期に計画していた保護者や地域の方を招いて実施予定であった「校内里海発表会」が実施できなかった。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- ◎実施している
- ・実施していない

#### <特記事項>

- ・学校だより、里海通信や学級だより、研究発表会等を通して、保護者に対して趣旨説明や成果報告を行った。
- ・保護者や地域に対して、学校公開の折に児童の学習発表で取組や学習の成果を発表した。

#### 4. 実施の効果及び課題

##### (1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

地域の特色を生かした特別の教育課程の編成は、海と人との共生を学び、海についての理解や関心を深めることをはじめ、郷土に誇りと愛情を持った児童を育成するために実施している。

(効果) 小木の町が好きである。 98.0%

小木の町や海を大切にしようと思う。96.1%

(課題) 肯定的な回答が多いが、全ての児童が肯定的回答になるように、より効果的な教育活動を工夫していく必要がある。

##### (2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

小木小学校の里海科の教育目標は、海洋教育のさまざまな活動を通して、海に対する豊かな感受性を培い、海に対する関心を高めるとともに、海洋と人間の関係および海を通して人々との結びつきについて理解することで、持続可能な社会の形成者としての資質、能力、態度を養うことであり、関係法規の小学校等の教育の目標に関する規定等に照らして適切であることを、能登町教育委員会において確認済みである。

(効果) 里海学習で、小木の町や海について新しく知ることが出来た。 94.1%

つながりを意識した探究・発信活動により、新しい学びを感じる児童が多い。

(課題) 里海学習で、話し合ったり、発表したり、学習をまとめたりする活動は楽しい。

78.4%

授業では、受け身になる様子が見られるので、課題意識をもたせ、対話を通して探究できるように、授業を工夫する必要がある。

#### 5. 課題の改善のための取組の方向性

児童の問題意識を大切にし、目的意識や相手意識を明確にして学習活動を行う。一人一台端末を効果的に活用することにより、探究活動や発信活動での深まりを目指す。